

**株式会社4°Cホールディングス**  
**(東証一部 8008)**

**第67期(2017年2月期)決算説明会**

2017年4月10日

**4°C** holdings group

# Contents

## I. 2017年2月期決算概要と総括

## II. 2018年2月期業績予想と重点施策

## III. 第4次中期経営計画の進捗状況

(株)4°Cホールディングス 代表取締役社長 鈴木秀典

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

# 2017年2月期連結業績の概要①

減収増益、営業利益・当期純利益は5期連続、経常利益は6期連続で過去最高を更新

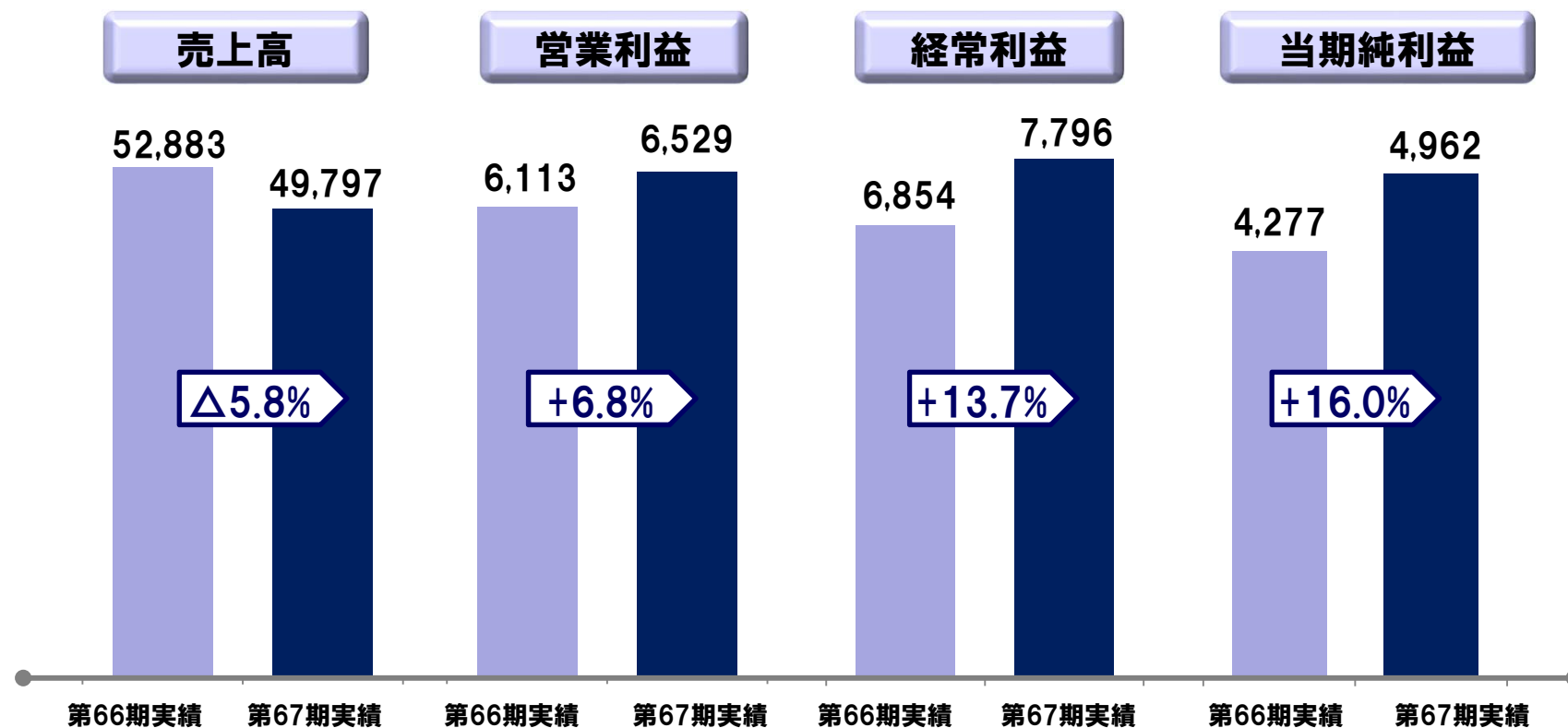
売上高 497.9億円(前期比5.8%減)

営業利益 65.2億円(同6.8%増)

経常利益 77.9億円(同13.7%増)

当期純利益 49.6億円(同16.0%増)

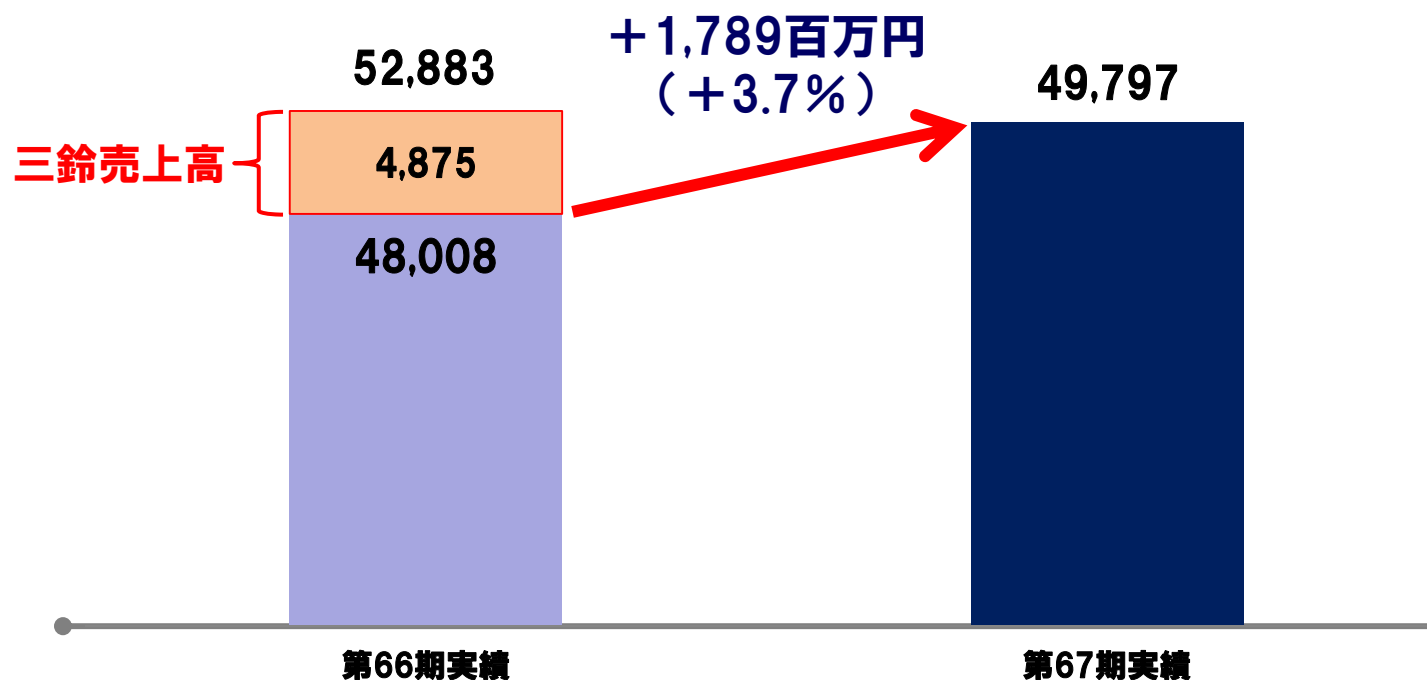
(単位:百万円)



(株)三鈴売却の影響を除いた売上高は前期比3.7%増と増収

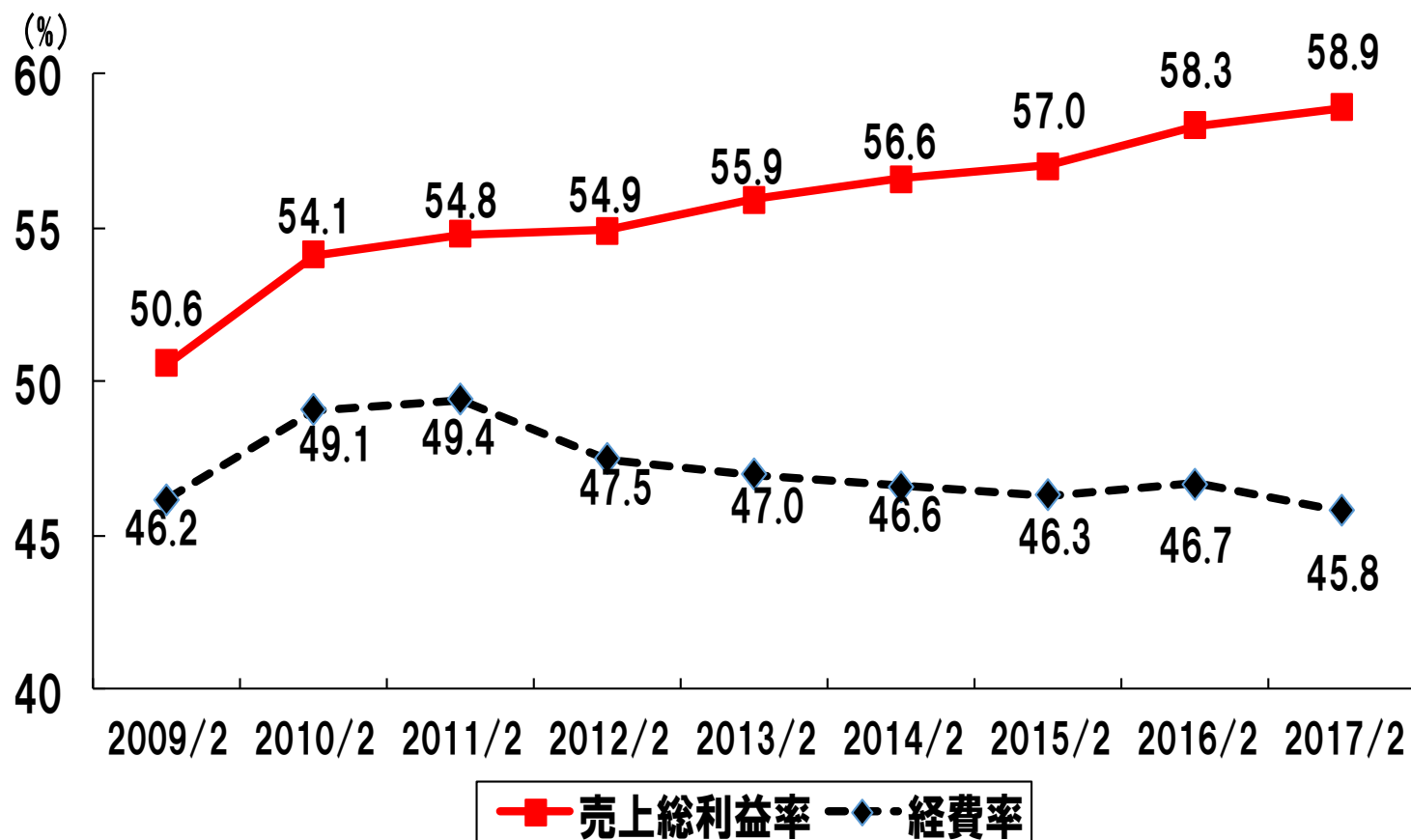
## (株)三鈴売却の影響を除いた売上高比較

(単位:百万円)



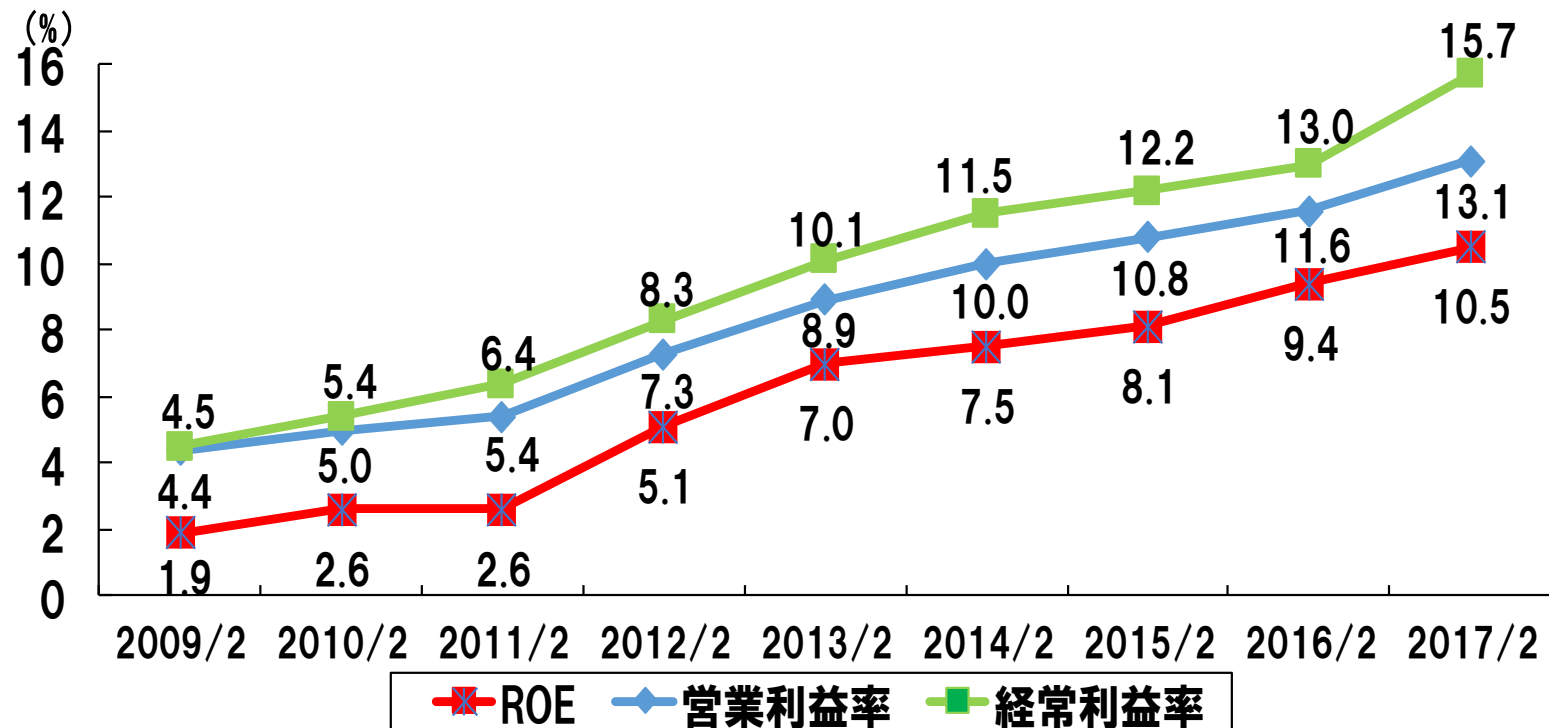
# 利益率の改善①

収益構造が一層改善、損益分岐点が低下



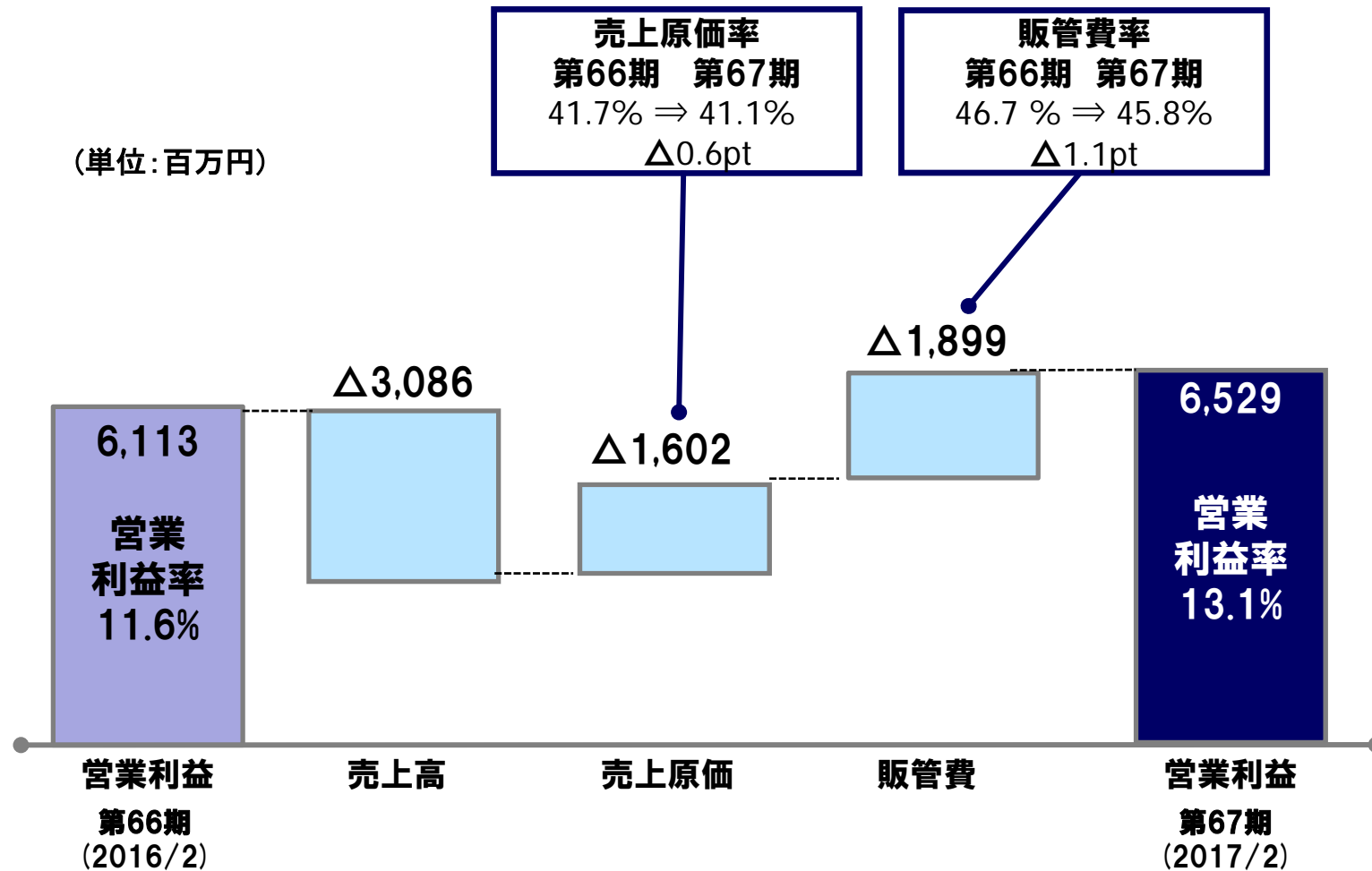
# 利益率の改善②

営業利益率、経常利益率、ROEともに大幅に上昇



# 営業利益の状況

営業利益65.2億円(前期比6.8%増) 営業利益率13.1%(同1.5pt増)



# 2017年2月期連結業績の概要②

(百万円、%)	第66期(2016/2)		第67期(2017/2)		第67期(2017/2)		前期比	計画比
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)	増減(%)	増減(%)
売上高	52,883	100.0	51,500	100.0	49,797	100.0	△5.8	△3.3
売上総利益	30,831	58.3	30,107	58.5	29,348	58.9	△4.8	△2.5
売上総利益率	58.3		58.5		58.9		+0.6pt	+0.4pt
販売管理費	24,717	46.7	23,557	45.7	22,818	45.8	△7.7	△3.1
営業利益	6,113	11.6	6,550	12.7	6,529	13.1	+6.8	△0.3
経常利益	6,854	13.0	7,700	15.0	7,796	15.7	+13.7	+1.2
当期純利益	4,277	8.1	4,950	9.3	4,962	10.0	+16.0	+0.2

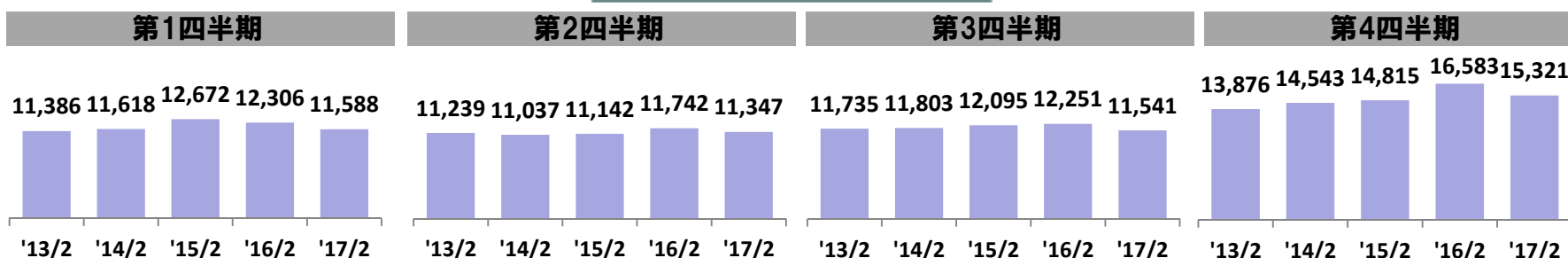


# 四半期業績の推移

## 売上高、営業利益ともに順調に成長

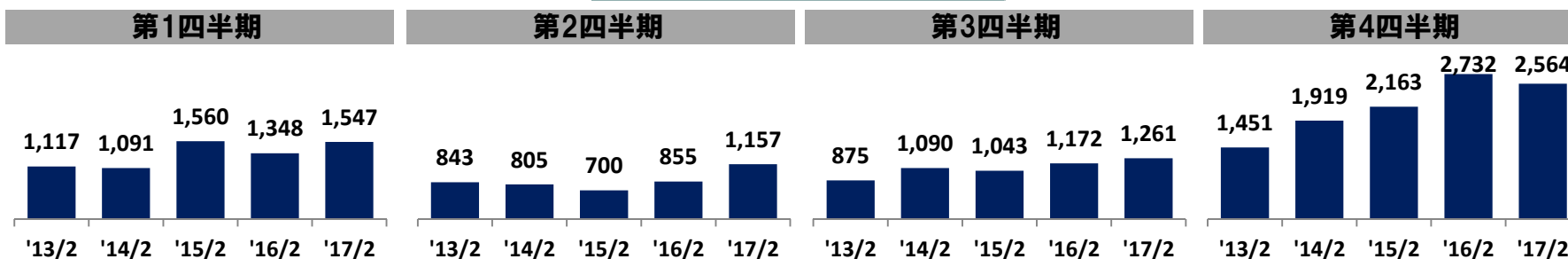
### 売上高

(単位:百万円)



### 営業利益

(単位:百万円)

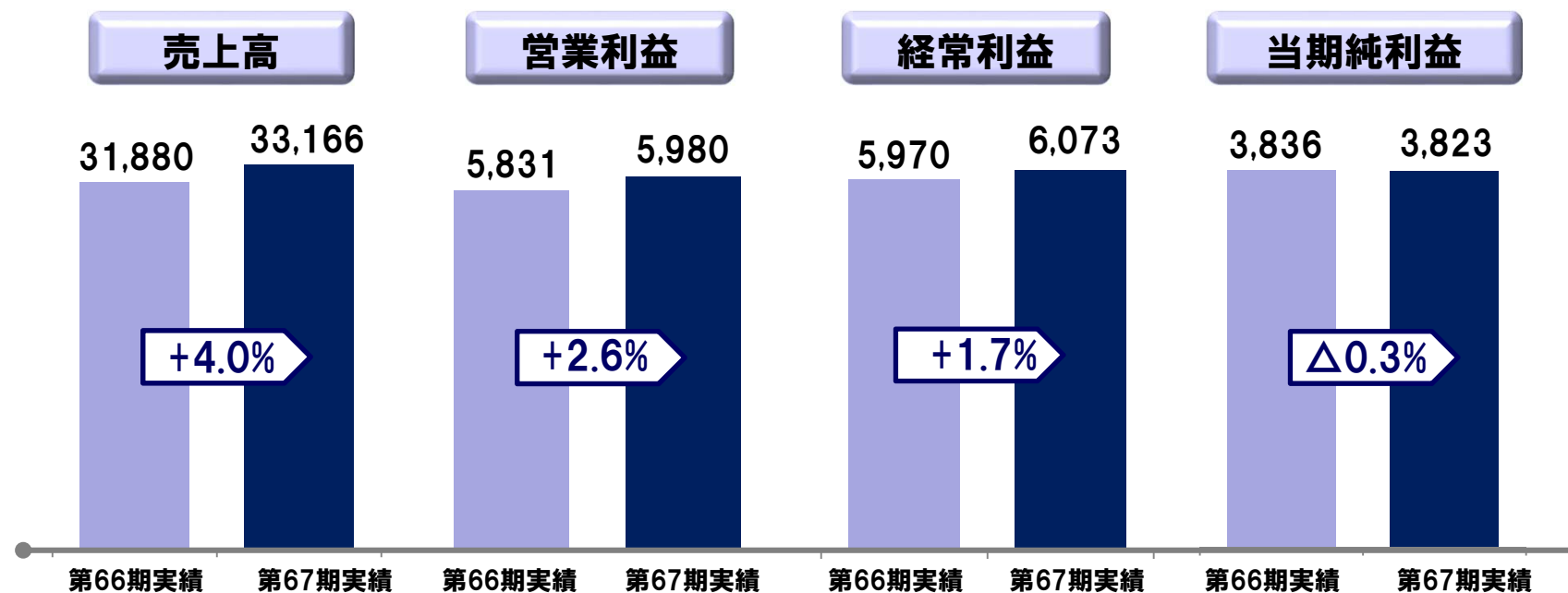


(百万円)	第66期 累計 (2016/2)	第67期 1Q期間	第67期 2Q期間	第67期 3Q期間	第67期 4Q期間	第67期 累計 (2017/2)	前年差	増減率 (%)
売上高	52,883	11,588	11,347	11,541	15,321	49,797	△3,086	△5.8
売上総利益	30,831	6,831	6,491	6,912	9,114	29,348	△1,894	△4.8
営業利益	6,113	1,547	1,157	1,261	2,564	6,529	+416	+6.8

- **増収増益、売上高は5期連続、営業利益は8期連続で過去最高更新**
- **「canal4°C」はアイテム幅の拡大により既存店伸長継続、出店改装も寄与し売上、利益ともに成長**
- **「Luria 4°C」は計画を上回るペースで出店拡大、既存店も好調に推移**
- **郊外型SC向け「MAISON JEWELL」はブライダルジュエリーの好調もあり売上高2桁成長、関東圏以外で初となる広島府中イオンモールへ出店**
- **ECの売上高は前期比30.5%増と大幅に成長、2016年8月には4°C BRIDAL公式オンラインショップをスタート**

# セグメント別業績の概要～ジュエリー事業

(単位:百万円)



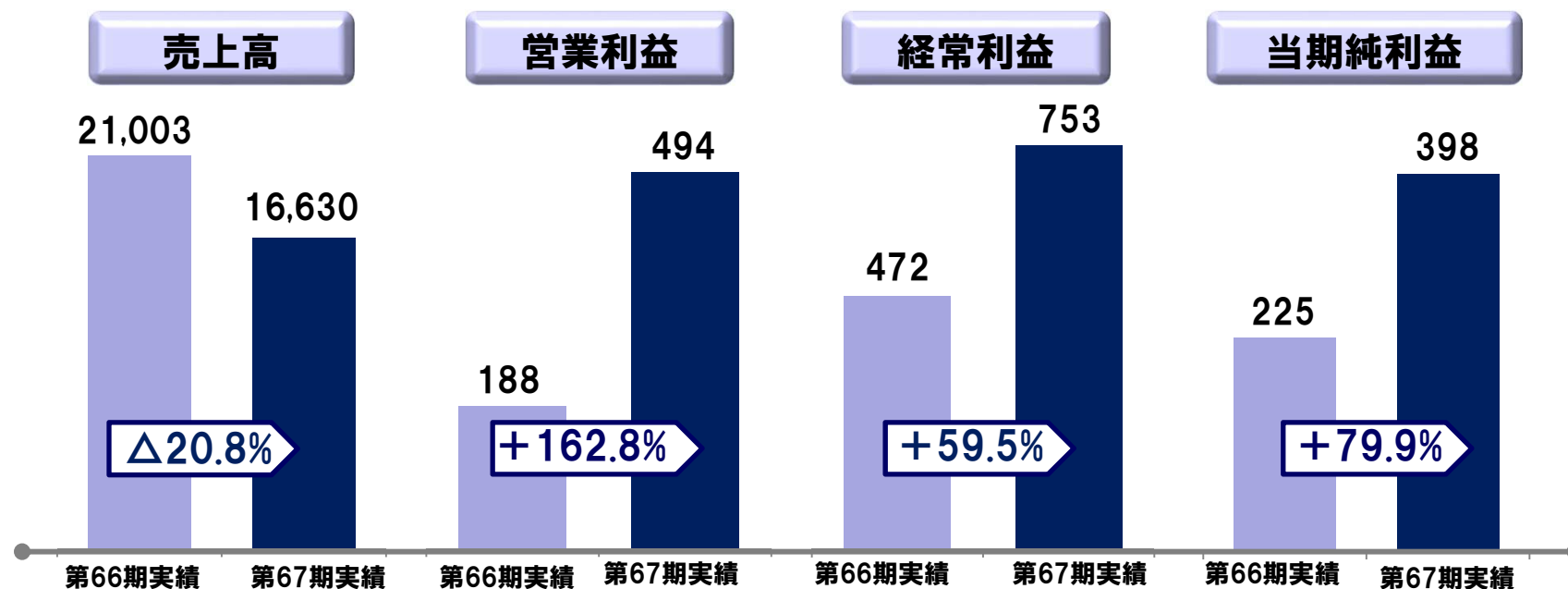
(百万円、%)	第66期(2016/2)		第67期(2017/2)				前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	31,880	100.0	34,076	100.0	33,166	100.0	+4.0	△2.7
営業利益	5,831	18.3	6,129	18.0	5,980	18.0	+2.6	△2.4
経常利益	5,970	18.7	6,248	18.3	6,073	18.3	+1.7	△2.8
当期純利益	3,836	12.0	3,930	11.5	3,823	11.5	△0.3	△2.7

(※当期より内部相殺後の数値にて公表しております)

- **(株)三鈴売却の影響を除くと実質の増収、大幅増益**
- **アパレルメーカー事業は生産管理能力の向上により利益率が大幅改善**
- **デイリーファッション事業「パレット」は商品構成力と販促活動の強化が奏功し、既存店売上高7期連続増収、利益率も改善**
- **会員制小売「ラポール」を2017年2月に閉店**

# セグメント別業績の概要～アパレル事業

(単位:百万円)



(百万円、%)	第66期 (2016/2)		第67期 (2017/2)				前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	21,003	100.0	17,294	100.0	16,630	100.0	△20.8	△3.8
営業利益	188	0.8	459	2.3	494	3.0	+162.8	+7.6
経常利益	472	2.2	679	3.9	753	4.5	+59.5	+10.9
当期純利益	225	1.1	435	2.2	398	2.4	+79.9	△8.5

(※当期より内部相殺後の数値にて公表しております)

# 財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産624億円、負債133億円、純資産490億円
- 財務CFは株主還元にて自己株式取得8億6千万円、配当11億9千万円

## 財務状況

2017年2月末時点

総資産 624億円	133億円	負債
	490億円	純資産

## キャッシュ・フロー

(単位:百万円)	第66期 (2016/2)	第67期 (2017/2)	差額
営業CF	5,319	4,964	△355
投資CF	△545	△2,347	△1,802
財務CF	△3,739	△2,305	1,434
フリーCF	4,774	2,616	△2,158

# 設備投資・減価償却費の概要(連結)

設備投資額 : 9.5億円 減価償却費 : 11.5億円

(百万円、%)	第66期 (2016/2) 実績	第67期 (2017/2) 実績	前期差
---------	------------------------	------------------------	-----

**設備投資額**  
(長期前払費用含む)  
(CFベース)

1,533

952

△581

(百万円、%)	第66期 (2016/2) 実績	第67期 (2017/2) 実績	前期差
---------	------------------------	------------------------	-----

**減価償却費**

1,161

1,156

△5

# 出退店の状況

- ジュエリー事業は計画以上の出店を実施、2ブランド営業終了による退店発生
- アパレル事業は5店舗出店(パレット4店舗、販売代行店1店舗)

		ジュエリー事業					アパレル事業	合計※	
		国内							海外
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計	(株)アージュ		
第66期 (2016/2)	期末	6	88	39	75	208	6	76	273
第67期 実績 (2017/2)	出店	0	7	0	13	20	2	5	26
	退店	1	9	2	1	13	1	2	16
	期末	5	86	37	87	215	7	79	283

(※アージュにてジュエリーの販売代行店舗あり。第66期末△17店舗を調整、第67期1店舗出店により第67期末△18店舗を調整)  
(※第66期末数値は(株)三鈴を除く)



# ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の状況

- ジュエリー、バッグともに国内取扱いブランド店舗数は拡大
- RUGIADA、deux et deux当期をもって営業終了

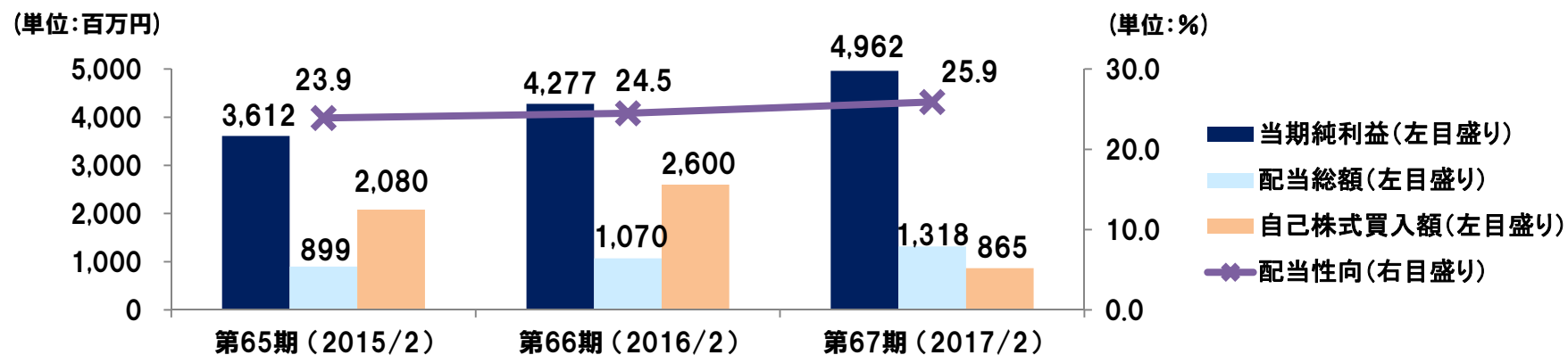
		4°C	4°C BRIDAL	canal 4°C	その他※	ジュエリー計	4°Cバッグ	Luria 4°C	バッグ計
第66期 (2016/2)	期末	93	48	45	25	211	49	19	68
第67期 実績 (2017/2)	出店	5	1	3	19	28	7	15	22
	退店	6	0	0	14	20	7	1	8
	期末	92	49	48	30	219	49	33	82

※1.その他: EAU DOUCE4°C、RUGIADA、MAISON JEWELL、deux et deux

※2.同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

## □ 安定的・継続的な配当を基本とし、機動的な自己株式の取得も視野に

- ⇒ 2017年2月期は前期に比べ10円増配の50円(6期連続増配)
- ⇒ 2016年8月に40万株の自己株式の取得を実施(3期連続実施)
- ⇒ 配当性向は25.9%、前期より1.4pt上昇



	第65期 (2015/2)	第66期 (2016/2)	第67期 (2017/2)
1株当たり年間配当金(円)	32.0	40.0	50.0
1株当たり当期純利益(円)	133.90	163.22	193.38
配当性向(%)	23.9	24.5	25.9
自己株式買入額(百万円)	2,080	2,600	865
総配分性向(%)	82.5	85.8	44.0

I. 2017年2月期決算概要と総括

**II. 2018年2月期業績予想と重点施策**

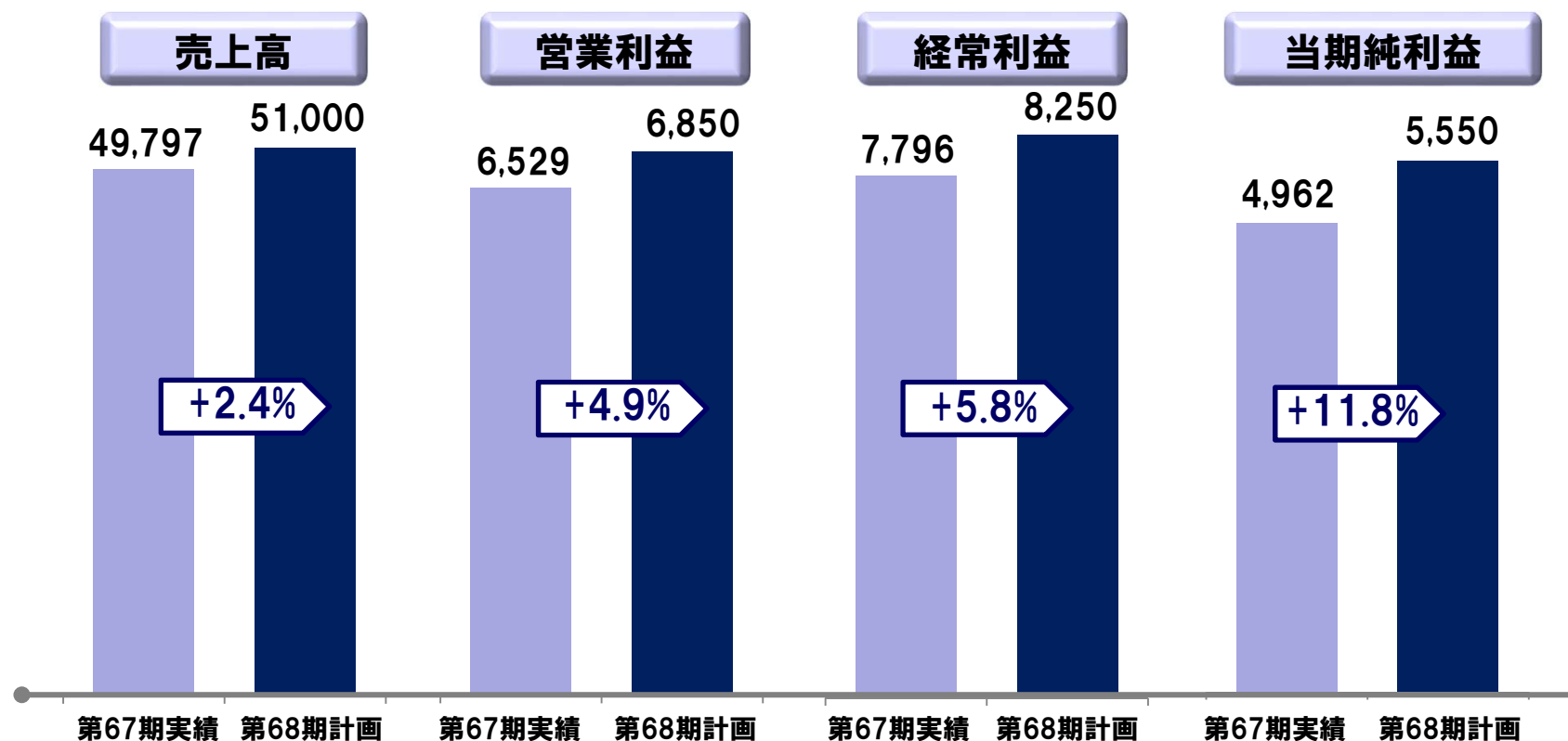
III. 第4次中期経営計画の進捗状況

# 2018年2月期連結業績予想①

増収増益、営業利益・当期純利益は6期連続、経常利益は7期連続過去最高更新の計画

売上高	510億円(前期比2.4%増)	営業利益	68.5億円(同4.9%増)
経常利益	82.5億円(同5.8%増)	当期純利益	55.5億円(同11.8%増)

(単位:百万円)



## 2018年2月期連結業績予想②

- 第2四半期累計期間では前年同期比増収減益の見通し
- 通期では増収増益、営業利益および当期純利益は6期連続、  
経常利益は7期連続で過去最高益を更新する見通し

(百万円、%)	第67期(2017/2)実績		第68期(2018/2)計画		前期比		
	通期	(%)	第2四半期 (累計)	(%)	通期	(%)	増減(%)
売上高	49,797	100.0	23,000	100.0	51,000	100.0	+2.4
売上総利益	29,348	58.9	13,507	58.7	30,362	59.5	+3.5
売上総利益率	58.9		58.7		59.5		+0.6Pt
販売管理費	22,818	45.8	11,007	47.9	23,512	46.1	+3.0
営業利益	6,529	13.1	2,500	10.9	6,850	13.4	+4.9
経常利益	7,796	15.7	3,150	13.7	8,250	15.7	+5.8
当期(四半期) 純利益	4,962	10.0	2,150	9.3	5,550	10.9	+11.8

# 2018年2月期セグメント別連結業績予想 (内部相殺後数値)

- ジュエリー事業は引き続き増収増益の見通し
- アパレル事業は安定成長により増収増益の見通し

(百万円、%)		第67期 (2017/2)	第68期 (2018/2)	
		実績	予想	前期比
ジュエリー事業	売上高	33,166	33,664	+1.5
	営業利益	5,980	6,367	+6.5
	経常利益	6,073	6,482	+6.7
	当期純利益	3,823	4,236	+10.8
アパレル事業	売上高	16,630	17,410	+4.7
	営業利益	494	592	+20.0
	経常利益	751	805	+7.3
	当期純利益	398	523	+31.9

# 出退店の計画

- ジュエリー事業は複合店を含めて国内にて20店舗出店の計画
- アパレル事業はパレット7店舗の出店を計画

		ジュエリー事業					アパレル事業	合計※	
		国内ジュエリー					海外		
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計			(株)アージュ
第67期 実績 (2017/2)	期末	5	86	37	87	215	7	79	283
第68期 計画 (2018/2)	出店	0	9	0	11	20	4	7	31
	退店	0	11	1	3	15	1	1	17
	期末	5	84	36	95	220	10	85	297

(※アージュにてジュエリーの販売代行店舗あり。△18店舗を調整)

# ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の計画

- 4°C BRIDAL、ブライダル専門店の独自性追求に向け一部店舗を区分整理
- 一部店舗において4°C バッグからLuria 4°Cへ切り替え

		4°C	4°C BRIDAL	canal 4°C	その他※	ジュエリー計	4°C バッグ	Luria 4°C	バッグ計
第67期 (2017/2)	期末	92	37	48	30	207	49	33	82
第68期 計画 (2018/2)	出店	6	0	2	4	12	1	33	34
	退店	4	1	1	1	7	37	2	39
	期末	94	36	49	33	212	13	64	77

※1.その他: EAU DOUCE4°C、MAISON JEWELL

※2.4°C BRIDALの第67期末取扱いブランド店舗数、ブライダル専門店の独自性追求に向け一部店舗を区分整理にて遡及修正

※3.同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上



## ジュエリー事業 : 4°Cジュエリーのギフトニーズ対応強化

4°C  
holdings group

- 商品開発力と品揃えの強化によるギフトニーズへの対応力向上
- 既存店対策によるマーケットの更なる拡大



# ジュエリー事業 : 4°C BRIDAL 専門店の独自性追求

4°C  
holdings group

- ブライダル専門店の独自性を追求した商品展開と売場づくり
- 商品刷新、展開型数を240型から310型へ拡大
- ブライダル専門の組織編成による企画力、接客サービス水準の向上



(「4°C BRIDAL」)



(「4°C BRIDAL」店頭演出)

# ジュエリー事業：成長ブランドの商品力強化と出店拡大

4°C  
holdings group

- canal4°Cの成長による都市型SCチャネルの更なる拡大
- Luria 4°Cは14店舗の出店に加え、4°Cバッグ店からの切り替えを19店舗実施予定



(「canal4°C」ららぽーとTOKYO-BAY店)



(「Luria 4°C」なんばマルイ店)

# ジュエリー事業：「MAISON JEWELL」の育成

4°C  
holdings group

- 商品の拡充と販促施策による認知度向上
- 出店による郊外型SCチャネルの更なる開拓をめざす



(「MAISON JEWELL」ブライダルジュエリー)



(「MAISON JEWELL」筑紫野店)

# ジュエリー事業：EC事業の更なる拡大

4°C  
holdings group

- 拡大を続けるECチャンネルにて、EC事業の更なる成長を計画
- ファッションジュエリー、バッグ等を取り扱う「JEWELRY BOUTIQUE」と「4°C BRIDAL公式オンラインショップ」の自社運営サイトの成長拡大

4°C公式オンラインショップ

JEWELRY BOUTIQUE

よくあるご質問 ご利用方法

ブランドから絞り込む アイテムから絞り込む 価格から絞り込む マテリアルから絞り込む ストーンから絞り込む モチーフから絞り込む

4°C

4°C TOPへ

4°C canal 4°C 4°C BRIDAL EAU DOUCE 4°C MAISON JEWELL 4°C Bag Collection Luria 4°C

Ranking 人気ランキング 2017.03.29 UPDATE ランキング一覧へ >>

- 2018年2月期は4店舗の出店を計画、第4次中期経営計画期間の10店舗展開を目指す
- 中国における「4°C」ジュエリーのビジネスモデル構築



- 商品企画力の更なる向上と展示会による提案力の強化
- 既存得意先との安定取引の継続
- 生産管理能力の向上による利益率の確保



(株)アスティ 展示会)



(ASTY VIETNAM inc.)

- 「パレット」の既存店売上高8期連続増収を計画
- ポイントカードによる優良顧客の獲得・拡大
- 7店舗出店予定、関西ドミナントの更なる深耕



(「パレット」サファ店)



(「パレット」駅家店) 32



**7期連続増配の年間配当65円(予想)、配当性向30%の達成を目指す**

## 配当性向等の推移

	第65期 (2015/2)	第66期 (2016/2)	第67期 (2017/2)	第68期 (2018/2) 予想
1株当たり 年間配当金(円)	32.0	40.0	50.0	65.0
配当性向(%)	23.9	24.5	25.9	30.1

- **安定的・継続的な配当の他、機動的な自己株式の取得を継続**
- **出店・改装投資と株主への利益還元後に積み上がったキャッシュは、ブランドポートフォリオの充実やサプライチェーンの強化によるジュエリー事業の成長に向けたM&A等に使用**

I. 2017年2月期決算概要と総括

II. 2018年2月期業績予想と重点施策

**III. 第4次中期経営計画の進捗状況**

## 第4次中期経営計画基本方針～数値ビジョン

- 中計2年目に(株)三鈴の売却、ブランド整理、「ラポール」閉店を実施、中計最終年度の連結売上高予想は510億円
- 中計2年目終了時点で経常利益は計画以上の推移、中計最終年度は82.5億円の予想
- ROEの数値目標である10%以上は1年前倒しで達成、中計最終年度は10.9%の予想

	当初数値ビジョン	初年度終了後 修正数値ビジョン	最終年度 連結業績予想
連結売上高	600億円以上	550億円以上	510億円
経常利益	80億円以上	80億円以上	82.5億円
ROE	10%以上	10%以上	10.9%

# 第4次中期経営計画 重点施策の進捗状況①

重点施策を着実に実施、2年目終了時点の進捗は計画以上

## 重点施策

## 2年目の進捗

積極的な出店戦略、3ヵ年で70店舗



2017年2月末で57店舗を新規出店

次の成長戦略を担う事業の開発・育成



- ・「Luria 4°C」は計画を上回る33店舗展開
- ・「MAISON JEWELL」大幅成長、出店可能性広がる
- ・4°C BRIDAL公式オンラインショップをスタート
- ・中国に2店舗出店し7店舗運営、18年2月期末の10店舗運営を目指す
- ・新規ブランド開発に向けた取り組み継続

## 重点施策

「成長エンジン5本柱」の継続による事業規模の拡大

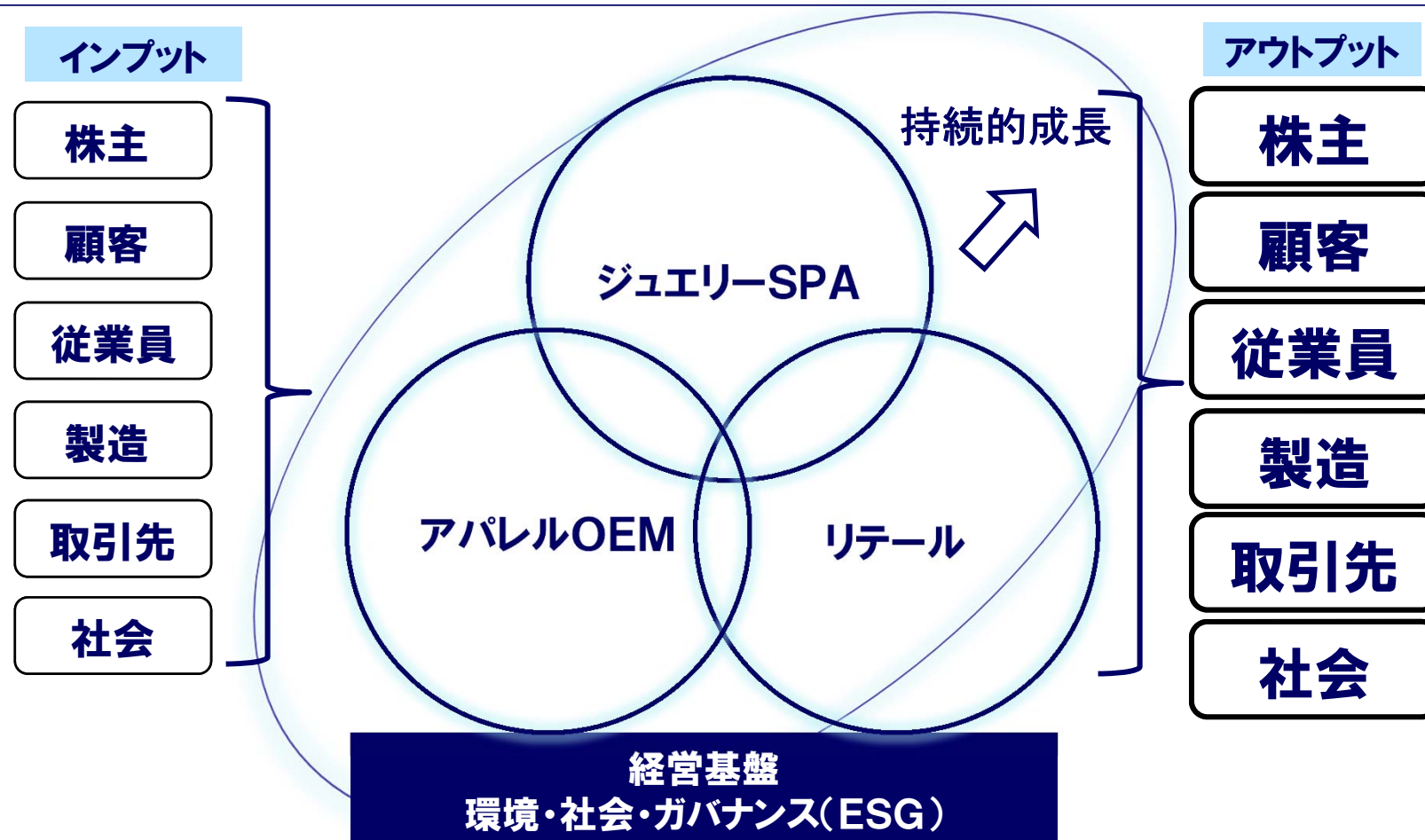


## 2年目の進捗

- ・「4°C」ジュエリーは商品開発によりギフトを一層強化
- ・「4°C BRIDAL」は専門店の独自性を追求
- ・「canal4°C」による都市型SCチャネル拡大
- ・アパレルメーカー事業、利益率が大幅に改善
- ・デイリーファッション事業「パレット」、販促活動と商品構成力強化で既存店7期連続増収

# 安定的・継続的成長に向けて～持続的価値の創出

ジュエリーSPA、アパレルOEM、リテールの3つの事業で価値拡大を目指す



- コーポレートユニバーシティ「まっとうな経営塾」による人材育成継続
- ダイバーシティ、女性の活躍推進への取り組みを拡大
- 業界トップクラスの品質管理体制の更なる充実



- 2017年2月期はジュエリー事業の成長とアパレル事業の大幅な利益改善により、実質増収、各段階利益において最高益更新を継続
- 2018年2月期もジュエリー事業の更なる伸長とアパレル事業の安定成長により最高益の更新継続を目指す  
(営業利益・当期純利益は6期連続、経常利益は7期連続の最高益更新予定)
- 4°Cジュエリーの商品力強化とブライダル専門店の独自性追求により既存店の成長に向けた取り組み実施
- Luria 4°Cを中心とした積極的な出店や改装による売上高拡大を継続、MAISON JEWELLの育成やEC事業の強化、中国の新規出店等に注力
- 好調な業績を背景に6期連続増配。中計最終年度の2018年2月期は年間配当予想を15円増配の65円とし、配当性向30%の達成を目指す
- 第4次中期経営計画は極めて順調に推移、更なる成長に向けて各施策に着実に取り組む



# 本日は誠にありがとうございました

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4°Cホールディングス

経営企画部 小塚

TEL 03-5719-3429

FAX 03-5719-3289

E-mail [ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。